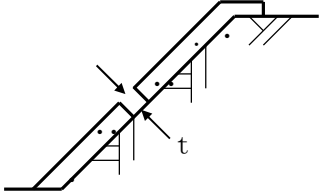
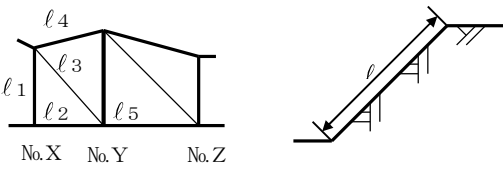
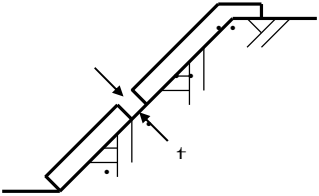
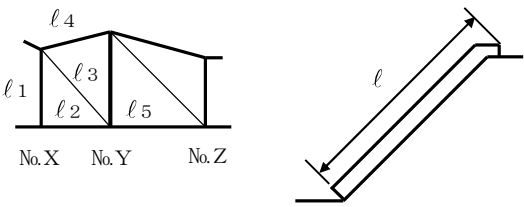


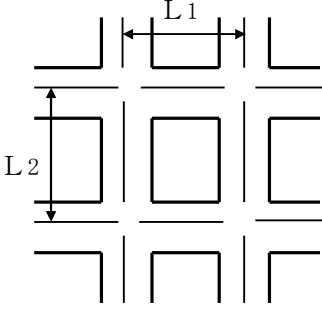
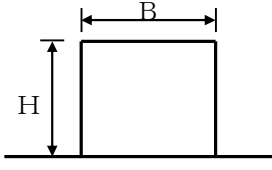
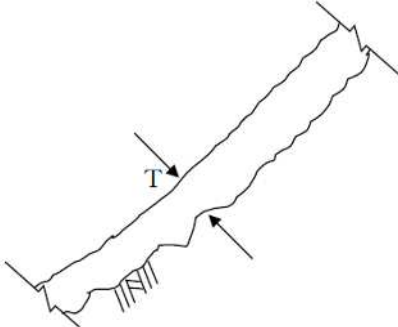
工 種	項 目	管理基準値 (mm)	(参 考) 規格値 (mm)	測 定 基 準
12 法 面 保 護 工 事	1 ラス張 植生マット 植生シート 繊維ネット 張芝 人工張芝	1 面 積 (A)	施工面積 ≥設計面積	全施工面積について展開図又はその他の方法により測定(求積)する。
	2 アンカー ピン数		ラス張 $\phi 9 (D10) \times L = 200\text{mm}$ 1.5 本/m <sup>2</sup> 以上  $\phi 16 (D16) \times L = 400\text{mm}$ 0.3 本/m <sup>2</sup> 以上	ラス張は 200 m <sup>2</sup> に 1 箇所 の割合で測定する。 上記未満は 2 箇所測定 する。
	アンカー ピン及び 止め釘		植生マット、繊維 ネット 肥料袋付 6 本/m <sup>2</sup> 以上 肥料袋無 3 本/m <sup>2</sup> 以上	植生マット及び繊維ネ ットは 500 m <sup>2</sup> に 1 箇所 の割合で測定する。 上記未満は 2 箇所測定 する。
2 種子散布	1 面 積 (A)		施工面積 ≥設計面積	全施工面積について展開図又はその他の方法により測定(求積)する。

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	—	展開図及び測線長		$l_n$ : 測線をいう。
—	測定値を記入	—		(参考) 規格値に示す値は標準であることから、工法により標準本数が異なる場合は、別途監督職員と協議する。
—	—	展開図及び測線長		$l_n$ : 測線をいう。

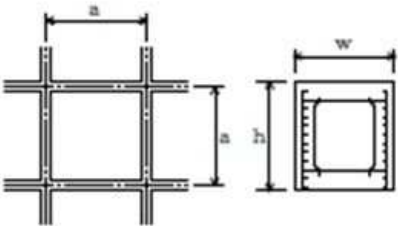
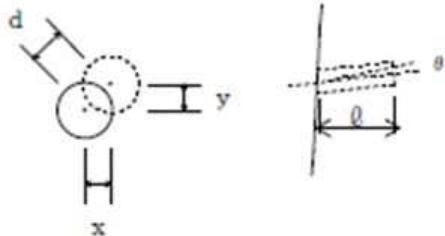
工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準
12 法 面 保 護 工 事	3 客土吹付	1 厚 さ(T)	平均厚さ ≥設計厚さ  ただし、吹付面に 凹凸がある場合の 最小吹付厚は設計 厚の 50%以上と する。	施工面積 500 m <sup>2</sup> に 1 箇 所の割合で測定する。 上記未満は 2 箇所測定 する。
		2 面 積(A)	施工面積 ≥設計面積	全施工面積について展 開図又はその他の方法 により測定(求積)する。
	4 植生基材 吹付	1 厚 さ(T)	平均厚さ ≥設計厚さ 測定値は 設計厚 5 cm未満 ⊖ 10% " 5 cm以上 ⊖ 20% ただし、吹付面に 凹凸がある場合の 最小吹付厚は設計 厚の 50%以上と する。	施工面積 200 m <sup>2</sup> に 1 箇 所の割合で測定する。 上記未満は 2 箇所測定 する。
		2 面 積(A)	施工面積 ≥設計面積	全施工面積について展 開図又はその他の方法 により測定(求積)する。

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
厚さで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの	—		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 吹付直後の厚さとする。</li> <li>2 岩等の突出部の特殊な場合は適用しない。</li> <li>3 設計吹付厚さ5 cm以上には適用しない。</li> </ol>
—	—	展開図及び測線長		$l_n$ : 測線をいう。
厚さで20点以上のもの	左記のもので20点未満のもの	—		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 吹付直後の厚さとする。</li> <li>2 岩等の突出部の特殊な場合は適用しない。</li> </ol>
—	—	展開図及び測線長		$l_n$ : 測線をいう。

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
12 法 面 保 護 工 事	5 吹付枠	1 梁 延 長	施工延長 ≥設計延長	全施工延長について展開図により測定する。	
		2 梁 間 隔 (L)	⊕ L/10	施工面積 200 m <sup>2</sup> に1箇所 の割合で測定する。	
		3 梁断面(H) (B)	⊖ 20	施工面積 200 m <sup>2</sup> に1箇所 の割合で測定する。	
	6 コンクリ ート吹付 モルタル 吹付	1 吹付厚さ (T)	設計厚 5cm 未満 ⊕ 7	⊖ 10	施工面積おおむね 100 m <sup>2</sup> につき1箇所の割合 でコア採取又は削孔な どして測定する。 上記未満は2箇所測定 する。
			// 5cm 以上 ⊕ 15	⊖ 20  (ただし、吹付面に 凹凸がある場合の 最小吹付厚は、設 計厚の 50%以上と し、平均厚は設計 圧厚以上。)	

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
—	—	展開図に朱記、併記する		
間隔で 20 点以上のも	左記のもので 20 点未満のもの	—		
断面で 20 点以上のも	左記のもので 20 点未満のもの	—		
厚さで 20 点以上のも	左記のもので 20 点未満のもの	—		施工端部、岩等の突出部の特殊な場合は適用しない。

工 種	項 目	管理基準値(mm)	(参考) 規格値(mm)	測 定 基 準	
12 法 面 保 護 工 事	7 法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法 枠工)	1 法 長 $\ell$	$\ell < 10\text{m}$	$\ominus 100$	施工延長 40m(測点間隔 25m の場合は 50m)につ き 1ヶ所、延長 40m(又 は 50m)以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。  枠延延長 100m につき 1 ヶ所、枠延延長 100m 以 下のものは1 施工箇所 につき2ヶ所。
			$\ell \geq 10\text{m}$	$\ominus 200$	
		2 幅 $w$		$\ominus 30$	
		3 高さ $h$		$\ominus 30$	
		4 枠中心間隔 $a$		$\oplus 100$	
		5 延長 $L$		$\ominus 200$	
	8 法枠工 (プレキャスト ト法枠工)	1 法 長 $\ell$	$\ell < 10\text{m}$	$\ominus 100$	施工延長 40m(測点間隔 25m の場合は 50m)につ き 1ヶ所、延長 40m(又 は 50m)以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。  1 施工箇所毎
			$\ell \geq 10\text{m}$	$\ominus 200$	
		2 延長 $L$		$\ominus 200$	
	9 アンカー工	削孔深さ $\ell$		設計値以上	全数
		配置誤差 $d$		100	
せん孔方向 $\theta$			$\pm 2.5$ 度		

管 理 方 式			測 定 箇 所 標 準 図	摘 要
管理図表によるもの (様式 2-1、 2-2)	結果一覧表によるもの (様式 3-1)	構造図に朱記、併記するもの		
				<p>曲線部は設計図書による</p> <p>本項目は、土木施工管理基準（平成 31 年 4 月）熊本県土木部を準用</p>
			 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	